

第1号議案

2020年度事業報告書

NPO法人発達わんぱく会

1 事業実施の報告

2020年度はコロナ禍の影響を受け、IT機器やソフトの導入を加速させ、zoomなどを活用したりリモート支援を全面的に導入したり、在宅でできる勤務は極力在宅で行う体制を構築しました。2. 給付事業（早期発見・早期療育事業）では感染防止のために集団療育の定員を下げるなどしましたが、1. NPO事業（寄付事業）では多くの法人や個人から多額の寄付を受けたり、4.（コンサルティング事業）では多くの開設支援を実施しました。

2 事業の実施に関する事項

事業名	事業内容	実施頻度	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
1. NPO事業 (地域市民の理解促進事業)	家族に対する勉強会や講演会の企画や運営に関する事業	年 3回	都内ほか	3人	発達障害に関心のある不特定多数	5,000
	家族及び地域の支援者に対する、WEB等を利用した啓蒙活動に関する事業	月 1回	浦安市内ほか	3人	発達障害に関心のある不特定多数	
2. 給付事業 (早期発見・早期療育事業)	幼児を持つ保護者等に対する発達や育児等に関する相談又は援助に関する事業	随時	浦安市内ほか	10人	発達や育児等に不安を持つ保護者約 300名	166,000
	児童福祉法に基づく、障害児通所支援事業	随時	江戸川区内ほか	40人	発達障害のある幼児約 200名	
3. 委託事業 (巡回支援・相談支援など)	保育園等の先生に対する相談又は援助に関する事業	随時	中央区内ほか	7人	保育園等の先生など約 600名	44,000
	障害児を育てる保護者に対する計画相談事業	随時	中央区内ほか	4人	障害のある子どもの保護者約 120名	
4. その他 (コンサルティング事業など)	障害児通所支援事業に関する開設及び運営の方法を助言する事業	随時	全国	10人	発達障害に関心のある約 50名	11,665
	地域の支援者に対する勉強会や講演会の講師を行う事業	月 1回	全国	5人	発達障害に関心のある不特定多数	